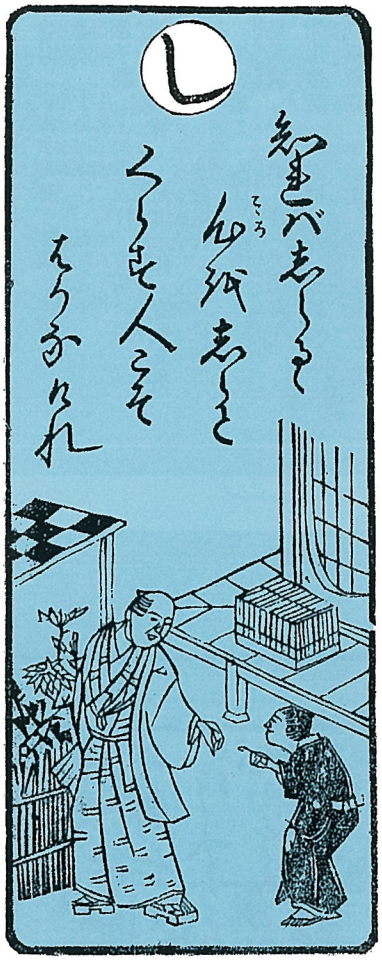
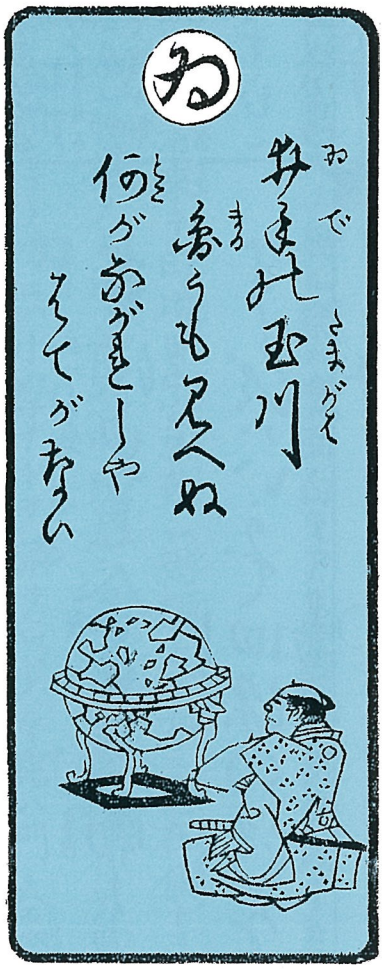
日本人の思考・行動に多大な影響を与えた「石門心学」書を一大集成。

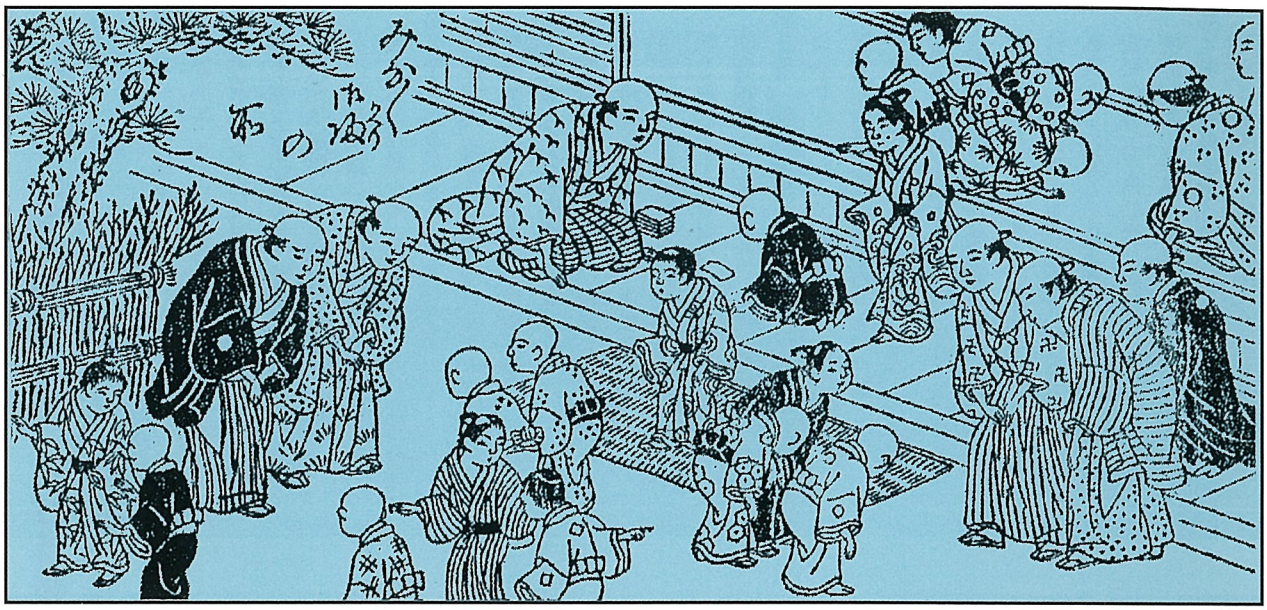
石門心学書集成

全22巻

小泉　吉永 編・解題　クレス出版







発刊にあたり

小泉吉永

石門心学研究の最高峰たる石川謙著『石門心学史の研究』の表現を借りれば、「石門心学」は、今から二八〇年以上前の享保一四年（一七二九）に石田梅岩を教祖として京都に誕生し、「人間生活の意味を探求して本性存養の道を講じた人生哲学」であると同時に、その教えを「広く一般に推し及ぼさんとした社会教化の運動」であった。

名もない市井の儒者の入門者は、最初、町人三〇数名と武士若干名であったが、半世紀も経たないうちに石門心学は全国六〇カ国に波及、うち四六カ国に明治初年までに合計一八〇校以上の心学講舎が成立した。私の手元にも、慶応元年（一八六五）一一月、江戸期最後の心学講舎「謹身舎」（美濃加納城下）の設立を京都の明倫舎に願い出た際の口上書がある。一人の心学者の出張講話を契機に入門者が急増し、心学研鑽の拠点が誕生した経緯も分かり、心学運動の生命力を彷彿させる。

しかしながら、明治以降の心学は半強制的に神道に位置づけられ、明治政府の宗教行政に翻弄される中で心学講舎の殆どが消滅した。ただ、京都の明倫舎・修正舎、大阪の明誠舎、東京の参前舎、長野県富士見町の時中舎などが有志の一念や善意に支えられて今日も命脈を保っていることは幸いである。

一方、石門心学書の叢書は、戦前までは何度も刊行されており、古くは赤堀又次郎編『心学叢書』（一九〇五）を始め、国民文庫刊行会編『道話集』（一九一〇）、黒川真道編『日本教育文庫・心学篇』（一九一一）、日本経済叢書刊行会編『通俗経済文庫』（一九一七）、高倉嘉夫編『心学道話全集』（一九二八）などがある。これらは活字で読みやすく、石門心学の普及に大いに貢献したと思われるが、収録書は最大三〇点余とごく一部に過ぎない。

今回、家蔵本から江戸時代の石門心学書一二〇点以上を厳選し、概ね著者別・年代順に配列して影印に付すという、大規模かつ戦後初の心学叢書を試みた。併せて、最終巻には所収文献の解題・索引とともに石門心学関係の各種データを用意する予定である。

石門心学は、日本人の思考や行動に多大な影響を与えた教学であり、石門心学書の数々は後世に伝えるべき貴重な文化遺産である。石門心学に関する研究が多方面で一層深まり、国民的関心の高揚につながることを切に願うものであり、本集成がその一助となればこの上ない喜びである。

（法政大学講師・往来物研究家）

石門心学書集成　全22巻構成

第1巻　石田梅岩
都鄙問答（石田梅岩作、元文四年）
遺書講義（手島堵庵作、寛政三年）
斉家論（石田梅岩作、延享一年）
石田先生遺稿（石田梅岩作、文化三年）
石田先生事蹟（上河淇水ほか編、文化三年）
莫妄想（作者不明、伝石田梅岩作、江戸後期）

第2巻　慈音尼蒹葭・手島堵庵(1)
道得問答（慈音尼蒹葭作、安永三年）
坐談随筆（手島堵庵作、明和八年）
会輔（手島堵庵作、安永二年）
会友大旨（手島堵庵作、安永二年）
知心辨疑（手島堵庵作、安永二年）
盲安杖（手島堵庵序、安永七年）
朝倉新話（手島堵庵作、安永九年）
朝倉雑話（手島堵庵作、文化三年）

第3巻　手島堵庵(2)ほか
ねふりざまし（手島堵庵作、安永二年）
眠覚し余音（上河淇水作、享和三年）
手嶋先生いろは歌（手島堵庵作、江戸後期）
〈男子・女子〉前訓（手島堵庵作、安永二年）
〈絵入〉前訓（手島堵庵作、江戸後期）
前訓略（市川淡斎作、天保十年）
社中心得之書（手島堵庵作、文政一年）
私案なしの説（手島堵庵作、文化十一年）
安楽問辨（手島堵庵、安永八年）
明徳和讃（手島堵庵作、安永九年）

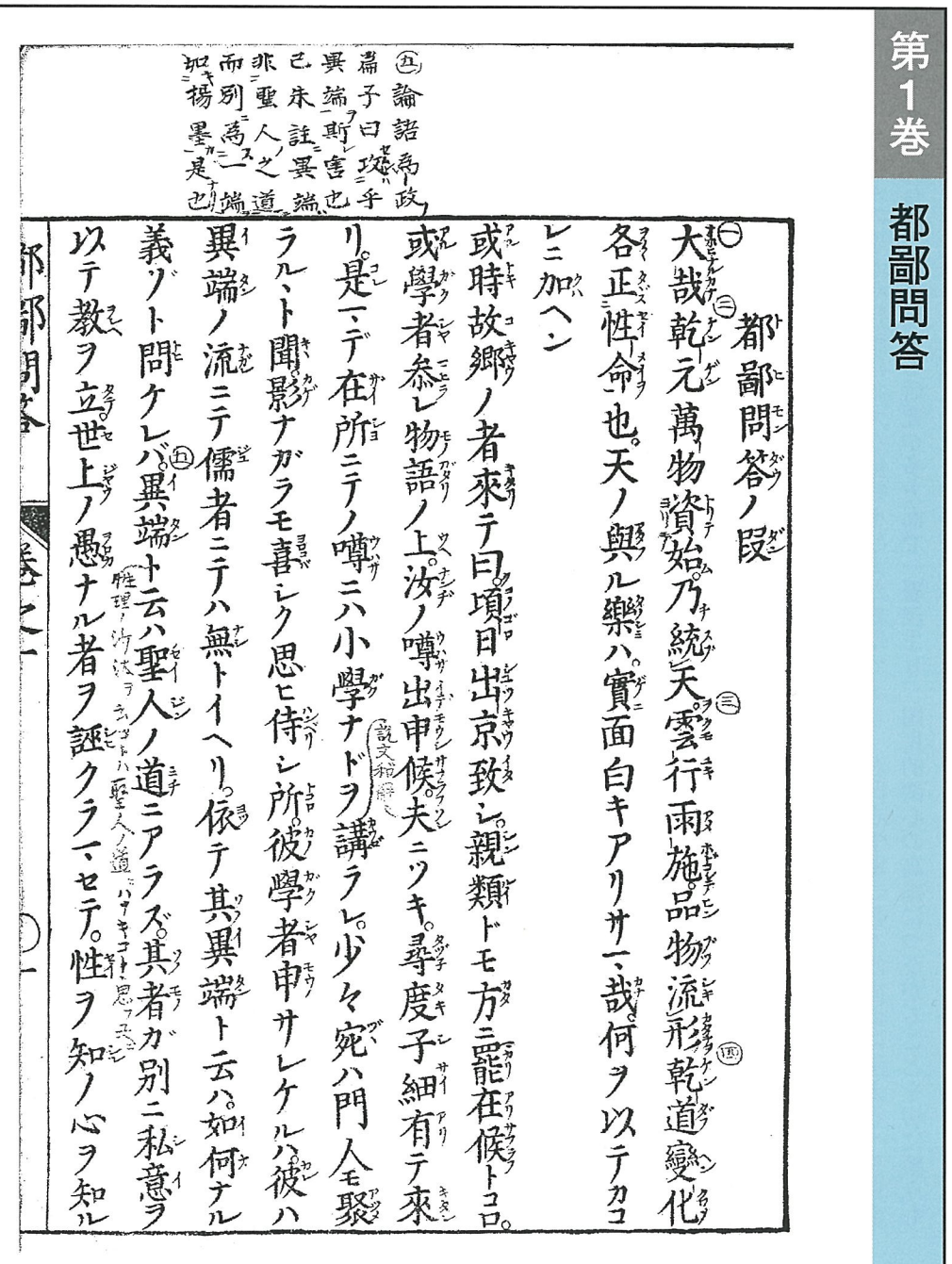
第4巻　手島堵庵(3)
女前訓躾種（手島堵庵作、天保十四年）
新実語教（手島堵庵作、天明一年）
理学津梁〈新実語教〉（手島堵庵作、天明二年）
為学玉箒〈初編、後編〉（手島堵庵作、江戸後期）

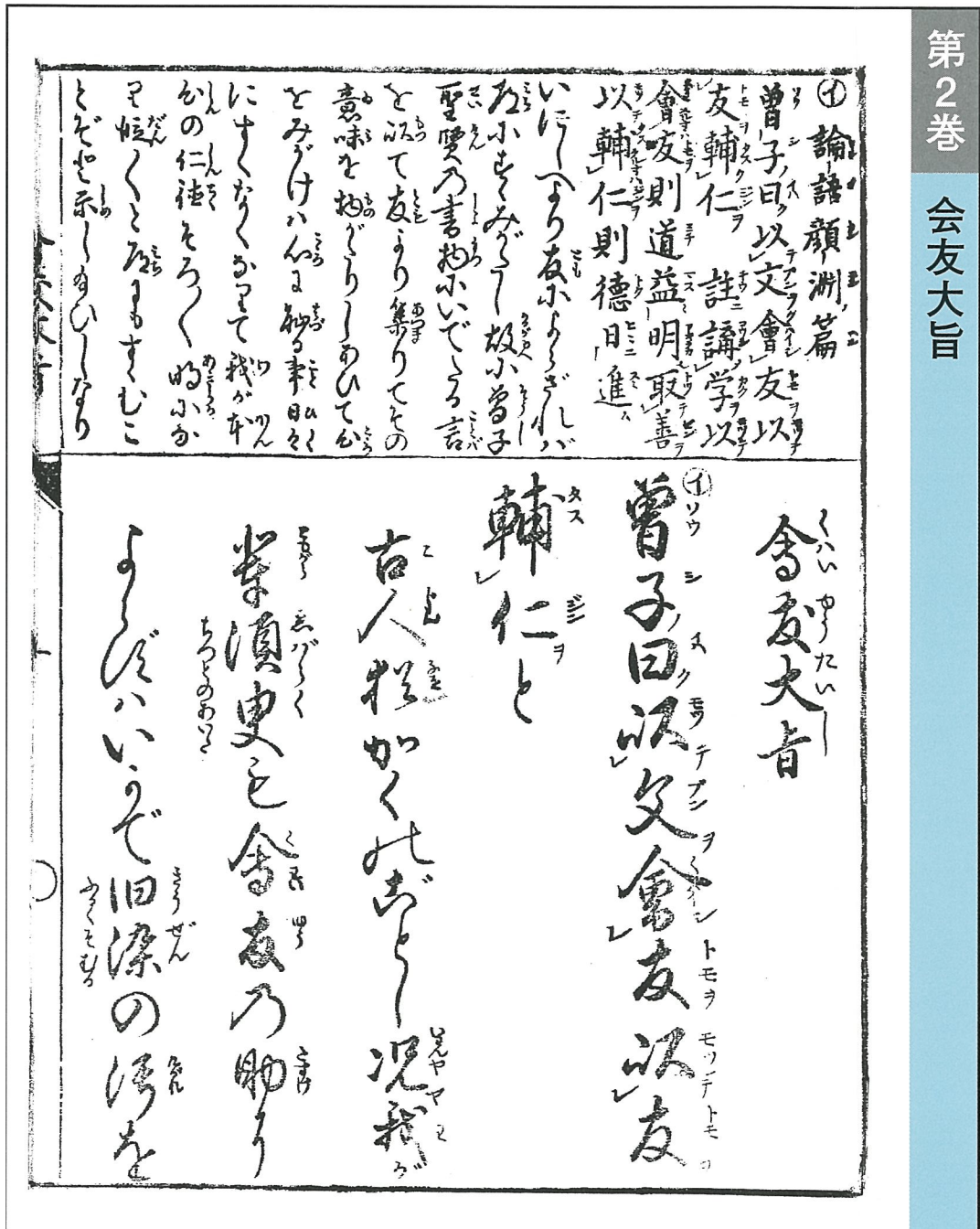
第5巻　手島堵庵(4)ほか
かなめぐさ（手島堵庵ほか作、江戸中期）
手島堵庵先生事蹟（天保五年）
諸国舎号（広瀬尹寿編、寛政一年）
和庵遺稿（手島和庵作、寛政九年）
孝経童子訓（上河淇水作、天明一年）
聖賢証語国字解（上河淇水作、寛政五年）
大学首章講義（手島毅庵作、江戸後期）

第6巻　中沢道二・鎌田一窓
道二翁前訓（中沢道二作、天明九年）
道二先生道話（中沢道二作、寛政五年）
道二翁童蒙訓（中沢道二作、文化十二年）
売卜先生糠俵〈初篇〉（鎌田一窓作、安永六年）
売卜先生糠俵〈後篇〉（鎌田一窓作、安永七年）
有べかゝり〈糠俵続編〉（鎌田一窓作、江戸後期）
目の前（鎌田一窓作、天明七年）

第7巻　鎌田柳泓
心学五則（鎌田柳泓作、文化十年）
心の花実（鎌田柳泓作、文政二年）
道の窃（鎌田柳泓作、文政二年）
心学奥の桟（鎌田柳泓作、文政五年）
心学童子訓（嘉永二年）

第8巻　脇坂義堂(1)





鬼は外（斉之作、安永十年）
やしなひ草〈初篇〉（脇坂義堂作、天保九年）
やしなひ艸二篇（脇坂義堂作、弘化二年）
民の繁栄（脇坂義堂作、寛政八年）
心相問答（脇坂義堂作、江戸後期）

第9巻　脇坂義堂(2)

五用心慎草〈義堂夜話二篇〉（脇坂義堂作、文政七年）
忍徳教（脇坂義堂作、文化六年）
心学教諭録〈初篇・二篇・三篇〉（脇坂義堂作、文化八年～江戸後期）

第10巻　脇坂義堂(3)

売卜先生安楽伝授（脇坂義堂作、寛政十年）
銀のなる木の伝授（脇坂義堂作、享和二年）
長命になるの伝授（脇坂義堂作、文化十四年）
かねもうかる伝授（脇坂義堂作、文政七年）
福相になるの伝授・和合長久の伝授（脇坂義堂作、江戸後期・享和二年）
開運出世伝授（脇坂義堂作、江戸後期）

第11巻　大島有隣 ほか

心学手引艸（大島有隣作、文政四年）
心学信徳録（大島有隣作、天保十年）
心学道哥集〈前編〉（大島有隣作、天保四年）
心学和合哥（大島有隣作、文化十一年）
心学心得艸（大島有隣作、嘉永一年）
臍隠居（岡田鷺光作、明和二年）
勧善小語（山東指月作、安永八年）
工夫の近道（洛西散人編、安永八年）

第12巻　その他心学書(1)

はなしの種（恒亭主人守株子作、天明二年）
教訓春日和（金蘭斎作、天明二年）
子孫繁昌記（聴松軒序、天明四年）
勧孝見せばや（善応作、寛政二年）
御代の恩（加陽山欖光作、天明七年）
あすも見よ（紀応信編、寛政三年）
大学童蒙解（植村正助作、寛政五年）
袖珍心学箴（谷川物外作、寛政十年）

第13巻　その他心学書(2)

心学施印集（江戸中・後期）
こゝろえ艸（久世友輔作、文化八年）
道話目覚草（文化十二年）
泰平の恩〈附ちなみ艸〉（大口知常作、文化十三年）
鸚鵡問答（丹羽氏祐作、文化十四年）
心学俗語（小林高英作、文化十四年）
湖山心得書（大口知常作、文政一年）

第14巻　その他心学書(3)

忠孝手引艸（曽根守愚作、文政十三年）
〈心学〉道歌集（曽根守愚作、嘉永二年）
心之姿見（天保二年）
御代乃腹鼓（大田垣猶川翁作、天保十一年）
御代乃腹鼓・教訓四恩（江戸後期）
心学人身録（冷木海童作、天保十三年）
心学図会（渓斎英泉画、天保十四年）
〈心学〉教訓図会　初篇・二篇（為永春水作、天保十四年・江戸後期）
心学人孝記（宝田千町作、弘化二年）
闇路指南車（和田耕斎作、弘化三年）

第15巻　孝子伝・その他心学書(4)

西岡孝子行状聞書（布施松翁作、明和七年）
孝行瓜のつる（川合元作、安永九年）
和田邑孝女茂代伝（鎌田一窓作、天明一年）
勢州鈴鹿孝子万吉伝（植村康済作、寛政一年）
心学聴取法門集〈初・二篇〉（平野橘翁作、慶応一年）
心学孝行種（平野橘翁作、明治頃）
道歌百人一首（誠心堂編、慶応三年）
かくあるべし（新井清兵衛書、江戸後期）
心学丸呑早学問（江戸後期）

第16巻　手島道話

手島道話（手島堵庵・手島宗義作、江戸後期）

第17巻　道二翁道話(1)

道二翁道話〈初編～六編〉（中沢道二作、江戸後期）

第18巻　道二翁道話(2)・鳩翁道話(1)

道二翁道話続編〈初～四篇〉（中沢道二作、弘化四年）
鳩翁道話〈初編〉（柴田鳩翁作、天保六年）

第19巻　鳩翁道話(2)

続鳩翁道話〈二編〉（柴田鳩翁作、天保七年）
続々鳩翁道話〈三編〉（柴田鳩翁作、天保十年）

第20巻　松翁道話

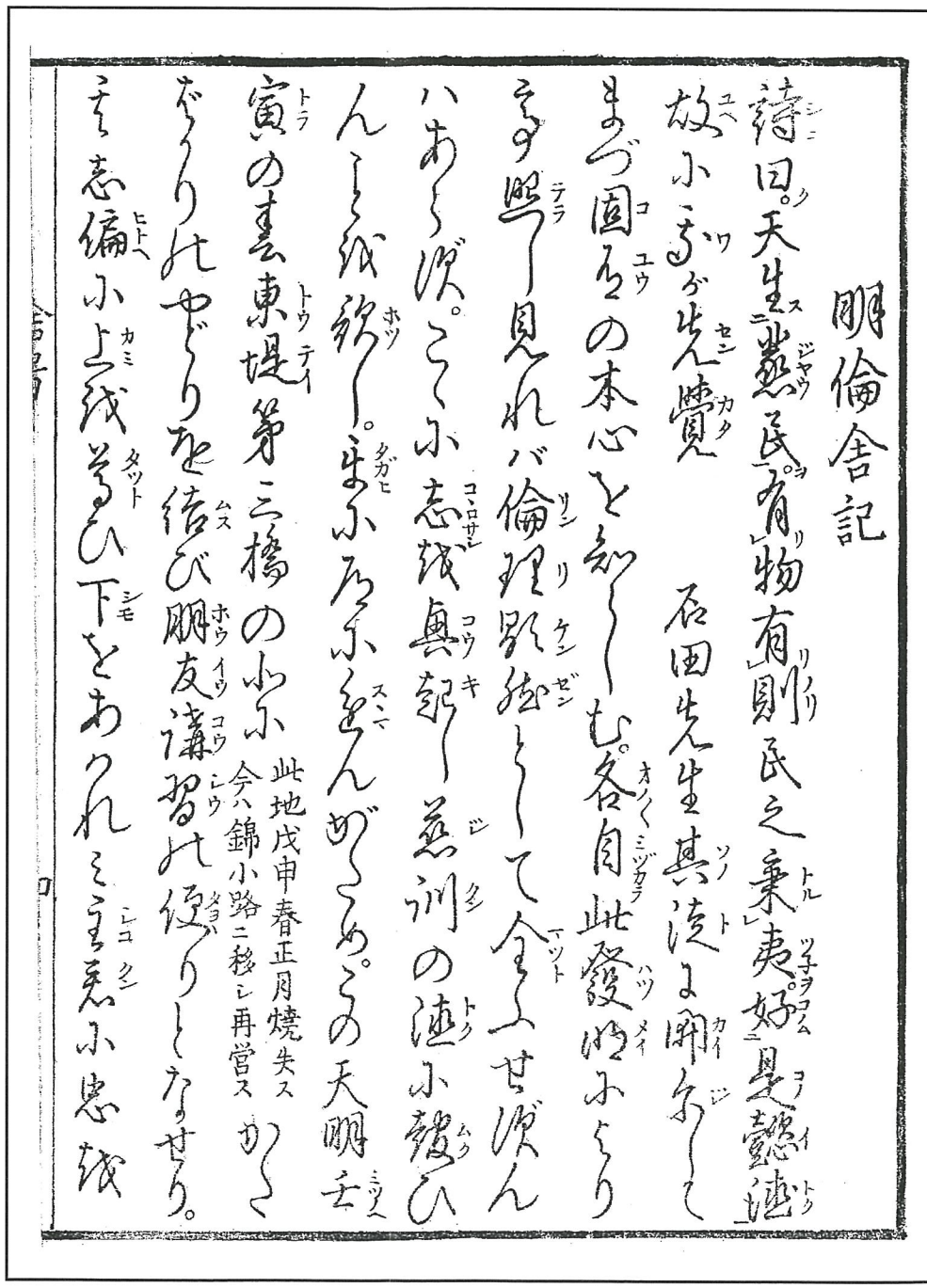
松翁道話〈初～五編〉（布施松翁作、弘化三年）

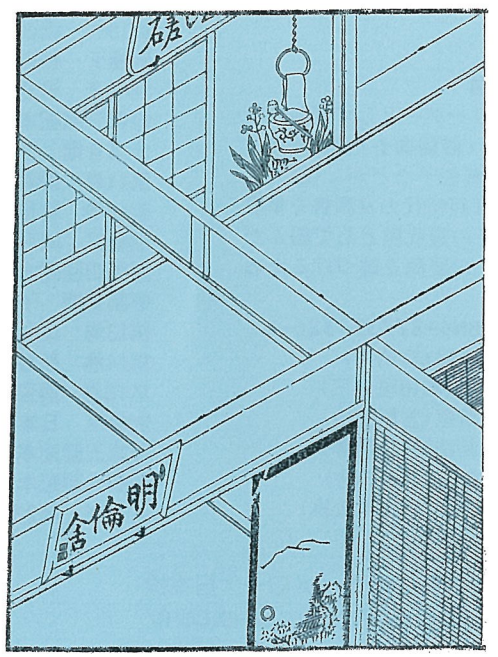
第21巻　心学道の話(1)

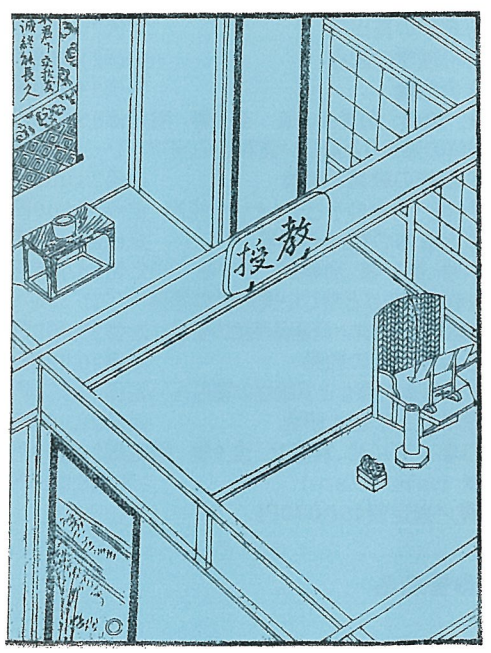
心学道の話〈初編～五編〉（奥田頼杖作、安政五年）

第22巻　心学道の話(2)

心学道の話〈六編～八編〉（奥田頼杖作、安政五年）
解題・索引







石門心学書集成 全22巻

小泉　吉永 編・解題

A５判／上製函入／クロス装

●第一回配本　第１巻～第７巻　全７巻　揃定価95,000円(税別)
平成25年５月末日　ISBN978-4-87733-754-4 (セット)
●第二回配本　第８巻～第14巻　全７巻　揃定価95,000円(税別)
平成25年９月末日　ISBN978-4-87733-755-1 (セット)
●第三回配本　第15巻～第22巻　全８巻　揃定価95,000円(税別)
平成26年１月末日　ISBN978-4-87733-756-8 (セット)
全22巻　揃定価285,000円(税別) ISBN4-87733-757-5(セット) C3312

●クレス出版好評既刊書●

近世育児書集成

全18巻／小泉吉永編・解題
江戸時代には数多くの子育て書が登場し、様々な育児論が展開した。従来の方面では平凡社東洋文庫の『子育て書』が最も重宝だったが、原本を正しく理解するには翻刻上の限界もあり、同書に未収録の文献も多数存在することから、今回104点を影印復刻
A5判／総8,800頁／揃定価180,000円　ISBN4-87733-349-5,596-0

近世礼法書集成

全15巻別冊１／小泉吉永編・解題
江戸時代の小笠原流関連書53点を武家礼法・庶民礼法・女性礼法・婚礼に分類・集録し、武家から庶民、あるいは女性礼法への広がりと礼法の変遷が一望できるように試みた初の集成。「小笠原流」がどのように形成され一般化したのか、庶民にいかに受容されたか。
A５判／総6,100頁／揃定価124,000円　ISBN978-4-87733-400-0

近世町人思想集成

全17巻／小泉吉永編・解題
18世紀後半から「『町人道』は漸く『人間の道』に拡大され」、「人としてあるべきこと」を考えるようになった。主要な商人教訓書約60点を影印復刻し、索引を設けて町人思想の変遷を一望できるように集成。近世の庶民が何をどのように読んだのか。
A５判／総6,100頁／揃定価180,000円　978-4-87733-522-9

家庭文庫

全12巻別冊解説／上笙一郎・山崎朋子編纂
大正の初期に、当時の女子・高等教育のリーダーとして高名だった人たち、下田歌子・嘉悦孝子・吉岡弥生・棚橋絢子・津田梅子・矢島楫子・山脇房子・跡見花蹊・三輪田真佐子などが、〈婦人文庫刊行会〉という会を結成。この会が、江戸時代の女訓書を集成した『婦人文庫』(全12巻)に次いで、その近代版として編んだもの。〈女性思想〉を追究し〈家庭思想〉の展開を跡づけるためには必須の貴重文献。
四六判／総4,540頁／揃定価91,000円　ISBN4-87733-326-6
《女性原論》新婦人訓(成瀬仁蔵)、良妻賢母論(宮田脩)
《家庭原論》家政講話(嘉悦孝子)、家庭経済(和田垣謙三)
《家庭生活》理想の住宅(保岡勝也)、家庭衛生(吉岡弥生)
《家庭教養》家庭博物(石川千代松)、新美装法(藤波芙蓉)
《家庭文化》家庭の娯楽(松浦政泰)、芸術講話(島村抱月)
《産育教育》児童の教養(三田谷啓)、童話の研究(高木敏雄)

複刻　日本女性史叢書

全23巻別巻１／上笙一郎・山崎朋子編纂
〈日本女性史研究〉の明治から昭和30年代までの稀覯45文献。
明治大正期Ⅰ　全６巻　揃84,000円　　Ⅱ　全５巻　揃70,000円
昭和期Ⅰ　全６巻　揃90,000円　　Ⅱ　全６巻　揃82,000円
別巻　日本女性史〈総論〉、各巻解説を纏めて再録　定価4,000円
A５判／総16,000頁／揃定価330,000円　978-4-87733-385-0ほか

日本の子ども研究

全Ⅲ期15巻別巻５／大泉溥編・解説
●第Ⅰ期　子ども理解の科学化　明治・大正期を中心に　476-5
第１巻　欧米児童研究の移植と初期の研究　定価19,000円
第２巻　児童観の進展と心理学への期待　定価22,000円
第３巻　発達研究の開拓と知能検査の翻案　定価22,000円
第４巻　大正新教育と学力評価　定価19,000円
別巻Ⅰ　近代日本の児童相談　定価13,000円
■第一回配本　第１巻～第４巻、別巻Ⅰ　全５巻　揃定価95,000円
●第Ⅱ期　子ども理解の拡がりと試練（一）　481-9
第５巻　昭和初期の心理学と実践　定価22,000円
第６巻　一九三〇年代日本の児童研究　定価20,000円
第７巻　留岡清男の子ども研究と生活教育論　定価20,000円
第８巻　奥田三郎の子ども研究と治療教育方法論　定価20,000円
■第二回配本　第５巻～第８巻　全４巻　揃定価82,000円
●第Ⅱ期　子ども理解の拡がりと試練（二）　486-4
第９巻　児童心理学の戦中と戦後　定価26,000円
第10巻　戦後児童心理学の再出発　定価25,000円
別巻Ⅱ　戦後の教育心理学の起点　定価21,000円
別巻Ⅲ　児童心理学の総括　定価23,000円
■第三回配本　第９、10巻、別巻Ⅱ、Ⅲ　全４巻　揃定価95,000円
●第Ⅲ期　子ども理解の深まりと新しい実践性の獲得へ(一)　555-7
第11巻　障害児実態調査の戦前と戦後　定価26,000円
第12巻　戦後の児童学と「日本の子ども」という視座　定価26,000円
別巻Ⅳ　城戸幡太郎と日本の教育心理学　定価26,000円
■第四回配本　第11巻、第12巻、別巻Ⅳ　全３巻　揃定価78,000円
●第Ⅲ期　子ども理解の深まりと新しい実践性の獲得へ(二)　560-1
第13巻　田中昌人の発達過程研究と発達保障論の生成　定価25,000円
第14巻　新しい子ども研究への胎動　定価26,000円
第15巻　調査・研究の方法論的深化と実践性の獲得へ　定価22,000円
別巻Ⅴ　日本の心理学者と子ども研究　定価22,000円
■第五回配本　第13巻～第15巻、別巻Ⅴ　全４巻　揃定価95,000円
■第六回配本　解説（未刊）　487-1　定価5,000円
A５判／総23,000頁／揃定価450,000円

〒103-0001　東京都中央区日本橋小伝馬町14－5　メローナ日本橋
☎03-3808-1821　FAX03-3808-1822　http://www.kress-jp.com/
株式会社クレス出版

●書店名